

令和7年度 文京区立誠之小学校

学校関係者評価報告書

評価委員長： 南部 和彦

評価期日： 令和8年2月26日

1 統括的意見

重点項目	具体的なご意見
■学力の向上	・教科担任制、習熟度別学習指導、少人数指導等により子供たちの成長を多角的に見守る体制づくりができたことは高く評価したい。それぞれの指導のもつメリット、デメリットも教員全体で確認・共有する作業が必要な時期ではないだろうか。人員の確保を進める上で説得力のあるエビデンスが求められる。 ・指導のPDCAサイクルの日常化の実践として、体育科の学習における児童同士の学び合いの手法が他教科でも取り入れられた点を高く評価したい。次年度は他教科での成果を保護者にも伝え共有してみてはどうか。 ・保護者のアンケートにも学校行事をもっと充実させて欲しいとあるので、特別活動に重点を置いた取り組みを多く実践し保護者の期待に応えて頂きたい。
■豊かな人間性の育成	・150周年の記念式典に向け、本校の「誠之人道」があらゆる場面で意識下され、児童の心に根付いたと思う。今後は一人ひとりの自立心の育成が図られるような学校全体の取り組みに期待したい。 ・スクールカウンセラーによる5年生の全員面接の実施は担当の方々のご苦労は大変であったと思うが、児童の内面を知るには大変良い取り組みであったと思う。実施後の結果の概要や活用方法について共有の方向を学内で検討してみてはどうか。 ・児童が参加するボランティア活動の内容を具体的に明示して頂きたい。
■地域との連携	・150周年に向け学校、保護者、地域が三位一体となり力を合わせ取り組んできたことが周年行事の盛会につながった。改めて本校の保護者・学校・地域の絆の強さを知ることができた。引き続き家庭・地域から親しみと信頼を得て、誇りに思われるよう、HP等を用い、保護者・地域への発信力を高めて行く必要がある。 ・周年行事を通して、地域の中核となる、地域学校協働本部、PTA、誠之学友会、町会等の方々との強固な信頼関係を確立できた。さらに持続可能なものにするために、151年目から学校としてどう取り組むかを具体的に示すことが求められる。
■教育環境の整備	・開校150周年に向けての学校の様々な遺産を学友会と協力して校長室、校歴室、校内外の整備に取り組まれたことには頭が下がる思いである。特に校歴室は圧巻である。これからも長く本校の歴史が語り伝えられる場となった。 ・教科担任制の充実には学年によっても様々な課題があったとあるが、その課題の分析や課題解決の方法について、具体的な改善策が記述されると良い。 ・日常の清掃活動の充実を図ることは誠之小への所属意識や自立心を育てることにもつながるので、特別活動の一環として継続的に取り組んで頂きたい。
■組織力の向上	・さまざまな問題も一人で抱え込まずに、組織として対応ができるようになっていくことを高く評価したい。ややもすると一人で抱え込み、精神面に影響し休職等に陥るケースが多い。学校が学年・学級、組織、働き方改革等に対して真剣に取り組んでいることが伺える。 ・自立型人材育成の取り組みの一環としておこなった模範授業や各種の研修会への参加が授業改善の下地となったことは本校の教育の質の向上につながるものである、次年度はその下地の上に更に大きな学びの場が構築されることに期待したい。

2 全校で共有できる意見がありましたら、お書きください。

(1) 肯定的意見(2つ程度まで)

・校内での模範授業や各種の研修、教職員研修センターが開催する研修会への参加は授業力向上につながる効果的な取り組みである。次年度もこの教員集団の方向性が継続されるよう学校としても側面から教員への支援を是非ともお願いしたい。

(2) 改善に向けた意見(2つ程度まで)

・保護者アンケートの5,6,8,9,14について「わからない」のパーセンテージを下げるにはどのような工夫や取り組みが必要であるか検討課題である。